

# 2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ゴルフ・ドゥ 上場取引所 名  
 コード番号 3032 URL <https://www.golfdco.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 功  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二  
 配当支払開始予定日 TEL 048- 851- 3111  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,607	5.4	137		132		87	
2025年3月期第3四半期	4,370	1.9	1		5		24	

(注)包括利益 2026年3月期第3四半期 100百万円 ( %) 2025年3月期第3四半期 6百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	17.60	16.75
2025年3月期第3四半期	4.93	

(注)当社は、2025年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算出しております。

(注)2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	3,737	889	22.4	172.50
2025年3月期	3,837	822	20.4	155.97

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 838百万円 2025年3月期 781百万円

(注)当社は、2025年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算出しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		5.00	5.00
2026年3月期		0.00			
2026年3月期(予想)				3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2026年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は上述の株式分割後の金額を記載しております。なお、株式分割前換算での2026年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は6円00銭となります。

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	6,200	4.8	77	169.9	70	87.5	35	99.5	6.98	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)2026年3月期(予想)における通期の1株当たり当期純利益については、上述の株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年3月期(予想)における通期の1株当たり当期純利益は、13円96銭となります。

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	5,211,284 株	2025年3月期	5,211,284 株
2026年3月期3Q	348,400 株	2025年3月期	198,400 株
2026年3月期3Q	4,979,611 株	2025年3月期3Q	5,012,884 株

(注)当社は、2025年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算出しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. 補足情報	10
売上高前年対比等	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株価、地価、金利及び物価の上昇、円安、人手不足に加えて年間訪日外国人客数及び消費額が過去最高更新といった中で、景気は回復へ向かいつつも、踊り場局面を迎えるものと推測されます。海外においては、A Iや半導体への投資が進み、米国の株価指数が最高値を更新する一方で、関税政策が他国を翻弄しております。また、中国は内需の低迷が続いており、他の国々においては紛争や資源争奪戦が続き、世界的な気候変動も手伝って、世界経済における不確実性の増大が懸念されます。

リユース市場においては、環境意識の高まりを受けてのリユースの浸透といった背景に加えて、物価高による節約志向や真贋鑑定精度が高く品質も良いとされる日本のリユース品へのインバウンド需要が後押しし、リユース品の需要は増加の一途を辿っているものと推測されます。また、メーカーによる自社製品回収から再生品（メンテナンス、クリーニング、アップサイクル等）のリセールまでの一連のシステムが各社で次々と確立されており、市場は活性化が進むとともに力強く拡大しているものと推測されます。

ゴルフ用品市場においては、「2025年問題」として日本ゴルフ市場の主要顧客層である団塊世代が後期高齢者となり、ゴルフ離れが加速すると懸念されていましたが、結果として急激な減少は無かったと推測されます。しかしながら、地球温暖化による季節の二季化によってベストシーズンが減少する等、環境面での懸念が年々深刻化しております。なお、株式会社矢野経済研究所「Y P S ゴルフデータ」によりますと、2025年10月～12月の新品クラブ及びボール等用品類のカテゴリ一合計前年同月比（販売数量ベース・金額ベース）は、10月98.5%・100.2%、11月98.0%・98.1%、12月94.7%・99.6%となっております。また、2025年（1月～12月）の合計は、96.6%・97.8%となっており、数量の減少を価格の上昇で補えなかったようです。

ゴルフ場及び練習場においては、総務省統計局「サービス産業動態統計調査「参考表 事業活動の産業（細分類）別売上（収入）金額」（<https://www.stat.go.jp/data/mbss/index.html>）を基に算出した2025年10月、11月のゴルフ場・練習場の売上前年同月比は、10月101.4%・98.0%、11月104.3%・96.4%\*となりました。

\*数値は速報からの算出で、12月分は公表前のため記載しておりません。

このような経営環境のなか当社グループにおいては、6月に2店舗（中浦和西口店、与野西口店）でスタートしたインドアゴルフ練習場「DODO GOLF（ドドゴルフ）」の収益化に向けた取り組みが続いております。11月にはさいたま三室店と志木東口店がオープンして2025年12月31日現在で4店舗となり、「ゴルフドゥ！NEX T」の併設店であるさいたま三室店は、今後「ゴルフドゥ！」併設を進めるにあたりシナジーを測るパイロット店となっております。また、さいたま三室店と志木東口店はDODO GOLFオリジナル仕様のシミュレーターを導入しており、ソフトウェアに関する設計の自由度が高いことから、柔軟でスピーディーな改修が可能となります。なお、今後はA I導入をも視野に入れつつ、唯一無二のシミュレーターを目指して進化を重ねてまいります。

「ゴルフドゥ！オンラインショップ」は、当社グループにおいて存在感が益々大きくなっています。猛暑等気候に左右されない強みを発揮し、「ゴルフドゥ！」の店頭販売が安定しない時も店舗売上高を支えております。また、売上高の前年同月比は4月から二桁増が続いており、今後も更なる成長を見据えて積極的な投資を続けてまいります。費用面においては、前第3四半期連結累計期間と比較して大きく上回っているものとして、人手不足（社員）に対するパートタイマーの採用増加による雑給、中途を含む社員の採用活動による採用費、クレジットカード及びE Cモールに関する手数料増加による支払手数料、E Cサイトの拡大等に伴う保守料、新規事業「DODO GO L F」の設備等に関する減価償却費があげられます。

直営事業においては、好調が続く「ゴルフドゥ！オンラインショップ」が牽引し、「ゴルフドゥ！」直営店の月間売上高は10月～12月の各月で過去最高となり、当第3四半期連結累計期間では6月を除く8か月で過去最高となりました。また、10月～12月はE C系売上高を除く店頭売上高に限っても各月で前年同月を上回っております。なお、当第3四半期連結累計期間の店舗売上高前年増減率（当社子会社の運営店舗を含まず）は、全店ベースで3.7%増、既存店ベースで3.8%増となりました。

フランチャイズ事業においては、「ゴルフドゥ！」フランチャイズ店の月間売上高が前年同月を下回る月もあるものの、「ゴルフドゥ！オンラインショップ」が好調に推移していることもあり、ロイヤリティ収入は前第3四半期連結累計期間を上回って堅調に推移しております。なお、当第3四半期連結累計期間の店舗売上高前年増減率（当社子会社の運営店舗を含む）は、全店ベースで0.5%増、既存店ベースで2.4%増となりました。

当第3四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！」のオープンは、4月に移転でゴルフドゥ！NEX T昭島武蔵野店/直営、5月に新規でゴルフドゥ！河口湖インター店/F Cで、2025年12月31日現在の「ゴルフドゥ！」は、直営24店舗、フランチャイズ45店舗（当社子会社の運営店舗を含む）、合計69店舗、チェーン合計の売上高前年増減率は、全店ベース2.1%増、既存店ベース3.1%増となりました。

営業販売事業においては、為替の影響で輸出による卸販売が低迷する米国子会社は、政府機関の閉鎖による消費の冷え込みや天候不順により店頭販売も苦戦するものの、E C系販売は好調が続いており、粗利益率の向上にもつながっております。なお、事業体制の見直しを兼ねて7月に国内E Cモールに出店する「GOLF J-WING S」、8月に国内卸販売をそれぞれ休止しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高46億7百万円（前第3四半期連結累計期間は売上高43億70百万円）、営業利益1億37百万円（前第3四半期連結累計期間は営業利益1百万円）、経常利益1億32百万円（前第3四半期連結累計期間は経常利益5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益87百万円（前第3四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純損失24百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(直営事業)

当第3四半期連結累計期間における直営事業の売上高は35億85百万円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益は3億64百万円（前年同期比60.1%増）となりました。

(フランチャイズ事業)

当第3四半期連結累計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は4億7百万円（前年同期比29.5%増）、セグメント利益は73百万円（前年同期比105.9%増）となりました。

(営業販売事業)

当第3四半期連結累計期間における営業販売事業の売上高は7億17百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益は5百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は28億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億58百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が2億8百万円減少、商品が76百万円増加したことによるものであります。固定資産は9億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が91百万円増加、無形固定資産が35百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、37億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は20億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加いたしました。これは主に買掛金が1億91百万円減少、短期借入金が2億円増加したことによるものであります。固定負債は8億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億19百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1億99百万円、退職給付に係る負債が17百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、28億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億66百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が75百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は22.4%（前連結会計年度末は20.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年11月13日付で公表いたしました内容（詳細は同日付公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。）に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	891,717	683,212
売掛金	346,039	334,694
商品	1,654,364	1,730,967
短期貸付金	—	1,200
未収還付法人税等	375	393
その他	82,396	67,533
貸倒引当金	△266	△1,466
流動資産合計	2,974,627	2,816,535
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	286,180	377,544
無形固定資産	316,496	280,764
投資その他の資産		
投資有価証券	49,766	59,424
長期貸付金	36,083	34,783
敷金及び保証金	164,369	173,521
繰延税金資産	27,658	17,114
その他	20,647	15,187
貸倒引当金	△38,251	△37,001
投資その他の資産合計	260,274	263,028
固定資産合計	862,952	921,337
<b>資産合計</b>	3,837,579	3,737,872
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	429,950	238,432
短期借入金	900,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	266,640	268,290
未払法人税等	36,080	27,131
賞与引当金	28,135	19,190
ポイント引当金	25,256	13,294
株主優待引当金	19,578	12,602
その他	287,313	367,044
流動負債合計	1,992,954	2,045,985
<b>固定負債</b>		
長期借入金	708,453	508,473
退職給付に係る負債	181,373	163,782
資産除去債務	80,570	89,155
その他	51,329	40,582
固定負債合計	1,021,726	801,993
<b>負債合計</b>	3,014,680	2,847,979

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	515,838	515,838
資本剰余金	169,240	169,240
利益剰余金	81,672	156,786
自己株式	△98,208	△128,808
株主資本合計	668,544	713,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,496	30,574
為替換算調整勘定	88,820	95,199
その他の包括利益累計額合計	113,316	125,774
新株予約権	41,038	51,061
純資産合計	822,899	889,893
負債純資産合計	3,837,579	3,737,872

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	4,370,119	4,607,244
売上原価	2,695,348	2,805,388
売上総利益	1,674,770	1,801,856
販売費及び一般管理費	1,672,906	1,663,951
営業利益	1,864	137,904
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,409	2,976
受取手数料	4,082	3,553
為替差益	30	434
貸倒引当金戻入額	1,800	—
助成金収入	4,154	—
その他	1,505	6,883
営業外収益合計	14,982	13,847
営業外費用		
支払利息	10,704	16,209
その他	357	2,662
営業外費用合計	11,062	18,872
経常利益	5,784	132,879
特別損失		
固定資産除却損	0	2,514
特別損失合計	0	2,514
税金等調整前四半期純利益	5,784	130,364
法人税、住民税及び事業税	7,706	35,620
法人税等調整額	22,798	7,099
法人税等合計	30,505	42,719
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△24,720	87,645
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△24,720	87,645

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△24,720	87,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,052	6,078
為替換算調整勘定	6,958	6,378
その他の包括利益合計	18,011	12,457
四半期包括利益	△6,709	100,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,709	100,102
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計 上額 (注) 2
	直営	フランチ ヤイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,468,125	301,499	565,648	34,844	4,370,119	—	4,370,119
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	12,858	114,511	—	127,370	△127,370	—
計	3,468,125	314,358	680,160	34,844	4,497,489	△127,370	4,370,119
セグメント利益 又は損失 (△)	227,949	35,741	8,369	△736	271,323	△269,459	1,864

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表計 上額 (注) 3
	直営	フランチ ヤイズ	営業販売	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,585,687	394,153	622,940	4,602,781	4,462	4,607,244	—	4,607,244
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	12,932	94,725	107,658	—	107,658	△107,658	—
計	3,585,687	407,086	717,666	4,710,440	4,462	4,714,902	△107,658	4,607,244
セグメント利益 又は損失 (△)	364,841	73,606	5,632	444,080	△30,439	413,641	△275,736	137,904

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、無人インドアゴルフ練習場事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度においてアパレル事業の「シューラルー」 フランチャイズ契約終了に伴いアパレル事業は終了したため、当連結会計年度より報告セグメントは「直営事業」、「フランチャイズ事業」及び「営業販売事業」の3事業となっております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	82,260千円	100,888千円
のれんの償却額	4,291	3,130

## 3. 補足情報

## 売上高前年対比等

当第3四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2025年10月	2025年11月	2025年12月	第3四半期合計 (10月～12月)	第3四半期累計 (4月～12月)
ゴルフドゥ！全店	101.1%	101.5%	101.7%	101.4%	102.1%
ゴルフドゥ！既存店	102.5%	101.7%	102.2%	102.2%	103.1%
同 直営店 全店	108.0%	104.3%	103.5%	105.2%	103.7%
同 直営店 既存店	108.0%	104.3%	103.5%	105.2%	103.8%
同 F C店 全店	94.7%	98.7%	100.0%	97.8%	100.5%
同 F C店 既存店	97.2%	99.2%	101.0%	99.2%	102.4%

(注) F C店には当社子会社の運営店舗が含まれております。

当第3四半期連結累計期間におけるE C系の売上高前年対比、セッション数前年対比、会員数（合計）、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2025年10月	2025年11月	2025年12月	第3四半期合計 (10月～12月)	第3四半期累計 (4月～12月)
売上高前年対比	106.9%	104.6%	111.0%	107.6%	114.3%
セッション数前年対比	100.1%	97.6%	107.3%	101.7%	99.6%
会員数（合計）					482千人
会員数前年増加率					7.2%

(注) 1. 売上高前年対比及びセッション数前年対比は、E C系（「ゴルフドゥ！オンラインショップ」、「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」及び「メルカリ S h o p s 」）合計の対比です。

2. 会員数は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフドゥ！」店舗の会員は含まれておません。